

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2025年5月27日

(宛先)  
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)  
滋賀県湖南市菩提寺字平尾2097

氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)  
王子コンテナ株式会社滋賀工場  
工場長 加藤 正志

滋賀県CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項  
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例  
第26条第1項  
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、  
事業者行動計画を策定 (変更)  
事業者行動報告書を作成  
したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	王子コンテナ株式会社 代表取締役 関野 和貴
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	東京都中央区銀座5-12-8 王子ホールディングス1号館

1 事業者の概要

事業所の名称	王子コンテナ株式会社 滋賀工場						
事業所の所在地	滋賀県湖南市菩提寺字平尾2097						
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	1	4	3	2	※ 産業分類・細分類名称を記載	
事業の概要	段ボール製造業						
従業員の数	80	人	操業時間	15.5	時間/日		
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/>	従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/>	任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	1	台	熱源設備	台	照明設備	台
	コンプレッサ	6	台	空気調和設備	台	その他	

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2021	年度	報告対象年度	2024	年度
	終了年度	2025	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

企業活動と地球環境との調和を目指し、資源の有効活用と環境汚染の防止に積極的に取組み、良き企業市民としての社会責任を果たす。

- 1、段ボール事業を通じて、地域環境の保全並びに地域との共存を企業活動の基本として行動する。
- 2、生産活動、製品及びサービスにかかわる法規制及び自主管理基準を含むその他の要求基準を順守した環境活動を推進する。
- 3、技術的、経済的な事情を配慮の上、事業活動が環境に与える影響を低減し、さらにリサイクルの推進を図る。
- 4、地球温暖化対策として、省エネルギーを推進し二酸化炭素排出量削減に努める。
- 5、生産工程からの廃棄物発生量の削減、廃棄物の有効利用などを一層推進し、廃棄物最終処分量の減少に努める。
- 6、環境目的・目標を設定運用し定期的に見直しを行う。
- 7、環境の持続的改善及び汚染の予防のため、定期的に内部監査、マネジメントレビューを行い、環境マネジメントシステムを継続的に改善する。

## 2 取組の推進体制

## ○責任者

工場長(環境推進委員長)・・・工場の環境活動に係る運用管理、監視、測定等の環境活動の推進、フォローの管理をする。

安全環境室長・・・工場の環境保全活動計画、進捗管理、環境情報の調査及び提供、課題事項への対応並びに工場長への上申、申告を行う推進責任者である。

## ○推進体制(組織図)



## ○従業員教育

毎年3月に、内容及び実施時期を明確にした『年間計画・進捗管理表』を作成し、安全環境室長はこれを審査し、訓練の結果を『環境教育・訓練実施記録』に記録する。(教育の内容は、従業員の環境に関する知識・能力を向上させることを目的とする。)

3 これまでに取り組んできたCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組

- ・産業廃棄物をさらに分別することにより再生燃料となる処分とする。
- ・デマンド監視装置の運用。
- ・機械設備使用してない区画の消灯。
- ・事務所、応接室、会議室、食堂等の照明をLEDに変更。
- ・フォークリフトをエンジン車からバッテリー車に変更。
- ・営業車にハイブリッド車を導入
- ・工場内全ての照明器具を省エネ効率の高い照明設備に更新。
- ・食堂、会議室エアコンを省電力タイプに更新。
- ・電力使用量削減のためインバーターコンプレッサーに切替(更新時切替予定)
- ・不要配管、蒸気漏れ等の点検見直し
- ・貼合熱板の保温

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	生産量平準化の推進による電力使用量削減	継続実施	実施中
2	運用改善	不要な照明の消灯励行・事務所19時退社の推進	継続実施	実施中
3	運用改善	不要配管・蒸気漏れ等の点検・見直し	継続実施	実施中
4				
5				

(2) エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>前回の計画期間は生産性の改善、設備不具合箇所の早期発見などが奏功し、改善が見られました。今後も同内容を継続していきますが、設備も老朽化が進むなか、対応可能な改善は既に終えており、大きな改善は見込めません。非効率な小ロット生産品目の見直しなどで25年度は20年度比1%以上の改善を目指します。</p>	<p>生産効率の改善については継続取組中です。24年度は前年に比べ生産量が4.8%増、原油換算エネルギー使用量も増加しました。                      原単位は前年よりは悪化していますが、計画開始前年度比94.6%となっています。                      t-CO<sub>2</sub> 3,876t                      貼合生産量 81,152千㎡                      製函生産量 67,445千㎡                      総生産量 148,597千㎡                      原単位 26.08</p>

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	単位	計画開始年度前年度の実績	実績報告				
			(21)年度	(22)年度	(23)年度	(24)年度	( )年度
原油換算エネルギー使用量	kL	1,581	1,610	1,629	1,549	1,584	
温室効果ガス総排出量	t-CO <sub>2</sub>	3,867	3,647	3,529	3,317	3,876	
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	3,867	3,647	3,529	3,317	3,876	
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	0	0	0	0	0	
CH <sub>4</sub>	t-CO <sub>2</sub>						
N <sub>2</sub> O	t-CO <sub>2</sub>						
HFCs	t-CO <sub>2</sub>						
PFCs	t-CO <sub>2</sub>						
SF <sub>6</sub>	t-CO <sub>2</sub>						
NF <sub>3</sub>	t-CO <sub>2</sub>						
エネルギー等原単位の推移		27.57	24.93	26.55	23.40	26.08	

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ( )	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			( )年度	( )年度	( )年度	( )年度	( )年度
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						

7 その他のCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに資する取組

## (1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			( )年度	( )年度	( )年度	( )年度	( )年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO <sub>2</sub>						
エネルギー起源CO <sub>2</sub> 【調整後排出係数】	t-CO <sub>2</sub>						
【調整後排出係数】	kg- CO <sub>2</sub> /kWh						
特記事項							

## (2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			( )年度	( )年度	( )年度	( )年度	( )年度
グリーン証書の購 入	t-CO <sub>2</sub>						
クレジットの購入	t-CO <sub>2</sub>						
特記事項							

## (3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1				
2				
3				

## (4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

	項目	単位	計画開始年度 前年度の 保有台数	実績報告				
				( )年度	( )年度	( )年度	( )年度	( )年度
	保有車輛の数	台						
	上記のうち 次世代自動車の数	台						
特記事項								

(5) その他のCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	3R	廃プラスチック類(分別により一部)焼却処理せず、RPF化し燃料として活用	実施中	実施中
2	3R	木屑類は、粉碎し木材チップとして燃料用や建築用として活用	実施中	実施中
3				
4				
5				